

# アジアナ航空(株)所属エアバス式A320-200型HL7762の航空事故(H27.4.14)に係る安全勧告に基づき講じた措置について

## 【事故の概要】

アジアナ航空株式会社所属エアバス式A320-200型HL7762は、平成27年4月14日(火)、同社の定期162便として広島空港に進入中、所定の進入経路より低く進入し、20時05分、滑走路28手前の航空保安無線施設に衝突した後、同滑走路進入端の手前に接地した。

同機には、機長ほか乗務員6名、搭乗整備士1名、乗客73名の計81名が搭乗しており、うち乗客26名及び客室乗務員2名の計28名が軽傷を負った。

同機は大破したが、火災は発生しなかった。



## 【韓国国土交通部に対する安全勧告内容】

### 韓国国土交通部がアジアナ航空に指導すべき措置

(1)会社手順及び運航乗務員の訓練について再検討した上で、運航乗務員に対して規定の遵守の重要性を再強調すること

(2)進入限界高度未滿への進入においては、あくまでも目視物標を主たる参照としなければならず、計器は補助として適切に使用することを教育及び訓練を通じて徹底すること

## 【韓国国土交通部からの回答】

(内容について一部精査中) (仮訳)

- 報告文化の促進
- HL7762便事故報告書(韓国語版)を乗務員に配布
- 遵守の重要性に関する(義務)訓練の資料の修正
- 規則遵守の重要性を強調するスローガンの作成

- 計器飛行からビジュアル・アプローチへの移行の明確な会社の方針を作成
- DA/MDA未滿で目視物標が見えなくなった場合の手順について検討



항공철도사고조사위원회

AVIATION AND RAILWAY ACCIDENT INVESTIGATION BOARD  
MINISTRY OF LAND, INFRASTRUCTURE AND TRANSPORT  
REPUBLIC OF KOREA

20 February 2017

Mr. Kazuhiro Nakahashi  
Chairman  
Japan Transport Safety Board  
2-1-2, Kasumigaseki, Chiyoda-ku  
Tokyo, 100-8918, Japan

**Subject:** Safety Action Plan on JTSB Safety Recommendations Issued as a Result of the Investigation into the Asiana Airlines flight 162 accident

Dear Chairman Nakahashi,

I wish to appreciate the JTSB's continued cooperation and am pleased to send you, in accordance with the paragraph 6.10 of the Annex 13 to the Convention of International Civil Aviation, a copy of the Safety Action Plan on the safety recommendations the JTSB issued as a result of the investigation of the April 14, 2015, accident in which Asiana Airlines flight 162, an Airbus 320-200, collided with the aeronautical radio navigation aids at Hiroshima Airport.

Regarding the JTSB's safety recommendations, the Aviation and Railway Accident Investigation Board (ARAIB) also issued the same recommendations to Asiana Airlines and requested the Korea Office of Civil Aviation (KOCA) to monitor the progress of the action the company has taken in response to the recommendations.

Attached is the Safety Action Plan which Asiana Airlines has prepared and submitted to the ARAIB, and I inform you that KOCA is consistently supervising Asiana Airlines in this regard.

Once again, I am deeply grateful to the JTSB for investigating the Asiana Airlines flight 162 accident and look forward to continuing our collaborative work.

Sincerely yours,

KWEON Sihong (James)  
Director of Aviation Investigation Team  
ARAIB  
Republic of Korea

## 韓国国土交通部に対する安全勧告

(2016.11.24 安全勧告)

(HL7762 広島空港 2015.4.14 発生 航空事故)

広島空港の滑走路28に進入中の同機は、アンダーシュートとなり、機長が復行操作を行ったものの、上昇に転ずる前に、滑走路進入端の手前に設置された航空保安無線施設に衝突したものと認められる。

本事故においては、機長は、規定及びSOPを遵守することなく、進入限界高度以下の高度において、目視物標を引き続き視認かつ識別することによる当該航空機の位置の確認ができなくなった状態で、ゴーアラウンドすることなく降下して進入を継続しており、これ以外にも進入に関する規定及びSOPから逸脱したオペレーションがあった。

同社は、本事故を踏まえ、会社手順及び運航乗務員の訓練について再検討した上で、運航乗務員に対して規定の遵守の重要性を再強調する必要がある。

また、同社は、進入限界高度未満への進入においては、あくまでも目視物標を主たる参照としなければならず、計器は補助として適切に使用することを教育及び訓練を通じて徹底する必要がある。

このことから、当委員会は、本事故調査の結果を踏まえ、韓国国土交通部に対して、以下のとおり勧告する。

韓国国土交通部は、アジアナ航空株式会社に対し、以下の事項を指導すること。

- (1) 会社手順及び運航乗務員の訓練について再検討した上で、運航乗務員に対して規定の遵守の重要性を再強調すること。
- (2) 進入限界高度未満への進入においては、あくまでも目視物標を主たる参照としなければならず、計器は補助として適切に使用することを教育及び訓練を通じて徹底すること。